

## 令和二年度第4回\_JAMSNET 東京\_臨時理事会議事録

日時 : 令和3年1月18日(月曜日) 19時30分から21時

場所 : ZOOM オンライン開催

参加(敬称略)

理事長: 仲本光一

理事: 本間俊一, 濱田篤郎, 鈴木満, 森博威, バーンズ亀山静子, 中山俊  
井上孝代, 岡田慎一郎, 松永優子, 吉田常孝, 福永佳津子

事務局: 柏原誠, 長谷川真人, 入沢 厚, 島谷和恵

欠席(敬称略)

監事: 古閑比斗志・和田仁孝

理事: 井上 祥

=====

### 1. 理事長挨拶、議長、書記・議事録署名人指名

議長: 仲本理事長

書記: 長谷川、島谷

議事録署名人: 岡田理事、松永理事

### 2. 審議事項

※理事会での採決方法に関しては定款(第35,36条)に記載あり。

棄権については、定款に記載はないが発言の自由の1つであるため、棄権も表決結果の1つとして認める(賛成票には数えられない)。

#### 2-1 議決事項

##### 1. JAMSNET 東京の来年度以降、NPO 法人継続について

→2021年度以降もNPO法人を継続・会費も同額(会員管理・書類提出等の事務局作業負担があることを想定した上で)とした上で、以下の討論が進んだ。

- ・事務局の負担が見えないので、現状賛否は決められない(亀山理事)
- ・通常事務作業は、各々、現状負担を感じないが、メールマガジン配信を本格的な事業にすると負担は増えると予想される(長谷川、島谷、柏原)
- ・NPO法人である理由は何か?(入沢)
- ・NPO法人だと社会的信頼を得やすい・助成金や企業からの寄付を貰いやすい・NPO法人を辞めるのは簡単だが始めるのは難しい。(本間理事)
- ・NPO法人維持のための経費が理解できていない(亀山理事)
- ・2020年度は、年間ホームページ管理費などで13万円程度、2020年度の講演会は中山理事のアンター社の協力もあり経費は無料、勉強会もzoomにて実施したため、会場費は無料、講師1名に謝礼として図書カード5000円のみ。2019、2020年度は会計士に特に作業は依頼していなかった(長谷川)。
- ・会計作業は会計士の介入が必須で脱税など発生する危険がある(森理事)
- ・日本渡航医学学会の外注事務局(編集室なるにあ:<https://narunia.co.jp/index.html>)

は年間 20-30 万円の経費が掛かる（濱田理事）

- ・現状規模か事業拡大で、事務作業は異なるので、現状の NPO 法人の活動内容についての討議としないと混乱する（長谷川）
- ・現状は入金も少なく、会計作業は複雑で無い・多くて月 5 時間（長谷川）
- ・メリット・デメリットの討議多数
- ・過去に同様の討議・報告がなされているので、過去の議事録を参考にして欲しい（長谷川）

→ワーキンググループを設立し、メリット・デメリットをリスト化する

- ・各担当者からメールでの情報収集を行う
- ・3 月理事会での決議とする（棄権を含めて）

ワーキンググループメンバー：本間理事・亀山理事・森理事・吉田理事

※参考資料 1. 事務局作業内容

※参考資料 2. 令和二年度 JAMSNET 東京年次総会議事案

## 2. オンライン交流会の実施：井上理事より

日時：2021 年 1 月 31 日 20 時-22 時

Zoom 配信会場：ハイアットリージェンシー新宿（ネット環境確認済み）

テーマ：シンガポールの現状と JAMSNET 各団体の会員間の意見交換・交流

参加数：50 名程度（実行委員を含め）

申込は Google フォームにて行い、岡田事務局長から ML 配信する

→以上の内容にて実施：賛成する 12 名・賛成しない 0 名

## 3. 理事・理事長の任期の確認

→定款・法務局への届け出状況を顧みて 2021 年度年次総会に新理事・理事長を

決定：賛成する 12 名・賛成しない 0 名

※検討事項：理事・理事長の選出方法について；定款第 14 条参照

→役員（理事・監事）選考調整委員会を設立し、公募案も含め、作業を進める

- ・仲本理事長より、理事長・理事退任表明

委員会：亀山理事・古閑監事

## 4. 相談事業の継続について；定款第 5 条(2)参照

→前々回理事会より提案されていた一般からの相談業務の基本方針を決定

一般からの相談業務は継続：賛成する 12 名・賛成しない 0 名

- ・今後対応マニュアルが必要であり、松永理事に作成依頼を継続審議とする
- ・個別カウンセリングは不可とするが、専門機関・団体へ繋ぐ事業は重要（本間理事）

・マニュアル作成および相談は年間 10 件前後である（島谷）が、1 件の発信数も今後はカウントするほうが良い（亀山理事）

→前々回の理事会では一般からの相談事業の担当理事を新設する案があり、  
今後、要検討

5. その他 特になし

2-2 提案・検討事項：

1. 会員へのアンケートについて：岡田理事より
  - ・総会時に意見を取っているが記載がないのでアンケートで意見収集は困難
  - ・次回総会後の交流会でグループ分けを実施し、意見を聞く予定に変更
2. 今後のメールマガジン配信計画について：岡田理事より
  - 担当者の負担増が予想されるため、既存のコンテンツの活用・紹介など、無理のない範囲で検討する
3. ホームページの会員専用サイトについて：長谷川より
  - 会員の特典になるような内容で発信を検討 次回、再提案予定
4. JAMSNET 東京・心の架け橋いわての共同活動方針：鈴木理事より
  - 今後、具体的な内容を提案し、理事会で検討・事務局間の交流も検討  
(心がけの活動内容について添付資料1を共有)
5. その他： 特になし

3. 報告事項

- 3-1 在アジアおよび在豪邦人メンタルヘルス対策のための産学官民協働オンライン情報交換会企画の進捗状況（添付資料2）：鈴木理事
- 理事会に報告してからの通知とするために開催日を延期し2月12日とした  
主催は在タイ日本国大使館、ジャムズネット東京には後援でお願いしたい  
：賛成する 12名 賛成しない 0名

3-2 来年度の講演会準備の進捗状況：岡田理事

前回報告の講演者は謝金が高く難しいため、再検討した

メイン講演者：決定・承諾済み

平尾剛氏（ひらお つよし、1975年5月3日生）元ラグビー全日本代表。

神戸親和女子大学発達教育学部ジュニアスポーツ教育学科教授

専門分野は「スポーツ教育学」「運動学」

ワールドカップからオリンピックへ

「スポーツによる心と身体について、世界に発信」をテーマにした講演を依頼  
・講演会のテーマと JAMSNET 東京の趣旨の関連の説明を願いたい(松永理事)

- ・講演会のテーマは心と体と健康で、そのためにもスポーツは重要な活動の一つ。メインの講演者は元オリンピック選手で2021年はオリンピック年でもありコロナ禍で国際的にもスポーツ活動がどのような影響を受けているか、現場レベルでのお話が伺える（岡田理事）
- ・東京の講演会についてはこれまでも全て資料、動画などを残してHPなどで紹介しており、世界中の邦人にとっても有用な内容として紹介・提供している。定款にも記載されているジャムズネット東京の目的に沿ったものである。次回のテーマも、世界の邦人にとって重要なものである（仲本理事長）

### 3-3 第1回「JAMSNET ワールド会議」準備の進捗状況：仲本理事長

オンライン開催形式のため、1回に限らず、世界のジャムズネットの連携および情報交換を行うことが可能となり、企画された

第1回は本年2月6日（土） 第2回は6月5日（土）予定

会員内には公開はせず、各代表に通達、理事・事務局を参加資格とすることができるだけ、新任理事にも参加をして頂きたい 〆切 1/23

参加予定：（敬称略）仲本光一・松永優子・鈴木満・岡田慎一郎・井上孝代  
追加 事務局：長谷川真人・島谷和恵

### 3-4 その他 特になし

以上

仲本議長は、以上をもって本日の議案の審議を終了した旨を述べ、21時閉会した。  
以上の議事の経過の概要および議決の結果を明確にするために、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名する。

令和三年1月18日

特定非営利活動法人 JAMSNET 東京

議 長 仲本 光一

議事録署名人 松永 優子

議事録署名人 岡田慎一郎